

Broaden your horizons 88 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう児島恵美子です。

もう、65歳は高齢者ではない……。日本老年医学会と日本老年学会が高齢者の定義について検証を開始しました。私も感じますが、最近、身体能力の高い高齢者が増えています。「前期高齢者(65~74歳)は高齢者と呼べない集団ではないか」(国立長寿医療研究センター研究所・鈴木隆雄所長)という指摘もあります。このため、老年医学会などは専門家15人で構成する検討会を設け、「高齢者」の再定義に乗り出したのです。1年ほどかけて見解がまとめられます。ただ、政策的にも社会的にも、年金問題にも医療問題にも、さまざまな影響をもたらすことが予想されるので、定義変更の長所・短所を含め、広角的に議論を進めるそうです。ちなみに、身体能力的には75歳以上が妥当とか。

ちょうど1年前、先端医療振興財団の井村理事長から、「日本の平均寿命は1930年代が45歳、2010年が82.5歳とどんどん延びる中、21世紀の終わりには男性が95歳、女性が100歳に達するだろう」というお話をうかがったことがあります。つ、ついに人間は仙人の領域に足を踏み入れるのか?と思ひ、「22世紀には200歳までいっちゃうのでしょうか?」と尋ねたところ、「それはない」ときっぱり(笑)。生物には限界寿命があり、人間の限界寿命は120歳ぐらいとのことでした。ヒトの心臓耐用年数は120年と聞いたことを思い出しました。そういうことなのね。そうであれば、高齢者の年齢定義が変わってもおかしくありません。20歳で第一の成人式(子どもからの卒業)、40歳で第二の成人式(青年からの卒業)、60歳で第三の成人式(大人からの卒業)という感じてましたが、平均寿命が倍に増えた現在は、こう加えましょう。80歳の第四の成人式「煩惱からの卒業」と。

長い人生の中で、学生の期間は変わりませんが、働く期間は伸びつつあります。仕事が充実しているかどうかで人生の充足度も大きく変わってくるでしょう。地域住民の長い人生をより良いものにする——。そういう働きが私たちの人生を充足させてくれます。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子